

## 第37回関西学生ポルトガル語暗誦大会で県大生が優勝、準優勝を果たしました！

県大生が例年出場し<sup>1</sup>、最近では、この大会を1年生のポルトガル語学習の登竜門として位置づけている関西学生ポルトガル語暗誦大会が、今年も7月1日（日）に京都外国語大学で開催されました。本学から初級の部（学習1年目の部）に2名出場し、外国語学部国際関係学科1年の稲垣葵さんが優勝、また、日本文化学部国語国文学科1年の近藤来夢さんが準優勝という輝かしい成績を収めました。今年の初級の部では、男女の熱烈な愛を歌った Tom Jobim の「Pela luz dos olhos teus（君の瞳に）」というブラジルの有名な歌の歌詞を暗誦しました。例年になく文章が長く、また、男女の愛をテーマにしたもので、暗記も、感情表現も非常に要求が高く難しかったと思いますが、パフォーマンスの完成度が非常に高く、二人ともが違う歌詞を暗誦しているのかと思うほど、オリジナリティに溢れたもので、大変素晴らしかったです。二人のパフォーマンスを見ていて、鳥肌が立つほど、詩の解釈が体と音により表現されていました。努力の跡がこちらまでびしびしと伝わってきました。毎回、研究室に練習に来るたびに成長がみられ、いつも驚かされました。

この暗誦大会を通して、ポルトガル語の知識だけでなく、様々なことを学んだことと思います。ぜひ、このたびの経験や感じたことを、少しおかげさではありますが、自分の学生生活、また、人生の糧にして欲しいと思います。この大会に際し、「ポルトガル語Ⅰ」のクラスメイトの前で2度発表をさせていただき、クラスメイト全員から率直なコメントや応援メッセージをいただきました。そのコメントを練習に反映させ、応援メッセージを胸に本番に臨みました。クラスメイトのみんなには出場者と同じ気持ちで一緒に闘っていただいたことを感謝するとともに、ご協力、応援いただきました皆様に心より御礼申し上げます。



～今年もやりました～

写真撮影：モイゼス・カルバーリョ先生（京都外大）

文責：国際関係学科 高阪香津美

<sup>1</sup> 2010年度から本大会に参加しはじめ、2013年度は応募者なし、2015年度は指導・引率者高阪の長期学外研究により不参加であったものの、この2年以外は毎年参加しており、今年度の挑戦は7回目である。